

第1回宮城県美術館リニューアル基本構想策定に係る懇話会 会議録

○ 日 時 平成27年5月28日(木) 午後1時30分～午後3時30分

○ 場 所 宮城県美術館 佐藤忠良記念館会議室

○ 出席者

(委 員) 佐々木吉晴座長 大場尚文副座長 泉 武夫委員 小野田泰明委員

高山 登委員 竹内美恵子委員 吉川 由美委員

(欠席委員 1名) 中村 政人委員

(宮城県教育委員会・宮城県美術館)

西村晃一次長 三浦生涯学習課長 菅原社会教育専門監 鹿野田副参事兼

課長補佐 小野寺社会教育支援班長 上原社会教育支援班課長補佐

有川幾夫館長 米倉 誠副館長 三上満良副館長 和田浩一学芸部長

西塚 弘教育普及部長 川村広明次長

1 開 会

(進行: 鹿野田副参事兼課長補佐)

只今から「宮城県美術館リニューアル基本構想策定に係る懇話会」を開会いたします。

なお、情報公開条例19条によりまして、県の附属機関の会議につきましては、原則公開となっております。本懇話会につきましては、公開により審議を進めさせていただきます。

はじめに、宮城県教育委員会教育次長西村晃一より御挨拶申し上げます。

2 教育長あいさつ

(西村晃一教育次長)

本日は御多用中にもかかわらず、御出席をいただき誠にありがとうございます。皆様には、日頃から本県の教育行政につきまして、格別の御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

今回は、お忙しいお立場にもかかわらず、懇話会委員をお引き受けいただきましたことにつきまして、重ねて感謝申し上げます。

懇話会委員の選任に当たっては、美術館の運営や建築、観光など今回のリニューアル検討に関するそれぞれの分野で御活躍されている方をお願いしております。

さて、宮城県美術館は昭和56年11月に開館し、以後、地域に根ざした、特色ある近代的な美術館として、「観る」「作る」「憩う」を基本理念としながら、多角的なコミュニケーションの場として現在まで活動を続けてまいりました。これまでの来館者数も850万人を超え、多くの方々に美術館に足を運んでいただいております。

また、平成23年3月の東日本大震災においても施設に被害はありましたが、応急復旧と施設の安全点検の後、約2ヶ月後の同年、5月1日からは佐藤忠良記念館を観覧料無料で開館し、7月5日からは本館、県民ギャラリーを開館いたしました。「美術館が開いている」という日常を早い時期に取り戻せたことは被災者の心の支えとなり、美術館としての一つの役割を果たしたものと思っております。

このように今日まで様々な歴史を刻んできた美術館ですが、開館から34年目を迎え、施

設・設備の劣化・老朽化に加えてバリアフリー化，省エネ対策のほか，建設当時とは異なる県民ニーズや環境の変化に対応していく必要が出てまいりました。

このような課題を解決していくためには，まず，中・長期的な展望のもとに，美術館として求められる今日的な役割や機能を改めて考え，それに合わせた施設・設備などのハード面の整備や魅力向上などのソフト面を合わせた抜本的な対策をとることが重要であると考えております。

このことから，今回「宮城県美術館リニューアル基本構想策定に係る懇話会」を設置し，皆様のそれぞれの専門分野から広く御意見をいただき，その御意見をもとに，今後の美術館のリニューアルの指針となる「宮城県美術館リニューアル基本構想」をまとめてまいりたいと考えております。

結びになりますが，委員の皆様には，美術館全体がトータルとして，訪れる人々に芸術文化と関わる喜びや楽しさをもたらす空間にさらに進化していけるように，お力添えを賜りますようお願い指導と御助言をお願い申し上げます，挨拶といたします。

本日はどうぞ宜しくお願いいたします。

3 委員並びに関係職員の紹介

(進行：鹿野田)

次に委員並びに事務局職員の紹介でございますが，第1回の会議でもありますので，自己紹介をお願いいたします。なお，中村委員については，本日は欠席となっております。また，小野田委員は大学の関係で遅れるとの連絡がありました。

それでは，次第の裏側の名簿順に沿ってお願いいたします。

(泉 武夫委員)

東北大学の泉 武夫でございます。東洋日本美術史の講座を担当しております。仏教絵画を専門としています。これまで，京都国立博物館に勤務するなど現場経験もあることから声をかけられたと受け止めています。どうぞ宜しくお願いします。

(大場尚文委員)

大場尚文(ひさのり)でございます。宮城県芸術協会の理事長をしております。これまで，宮城県美術館には2度に亘って勤務し，トータルで7年間教育普及部でお世話になりました。宜しくお願いいたします。

(佐々木委員)

いわき市立美術館の佐々木です。出身は宮城県の塩竈市で，大学まで仙台で過ごしました。いわき市立美術館は宮城県美術館の1／3程度の大きさの美術館です。今回は自分自身の勉強と故郷のためにと思い参加いたしました。宜しくお願いいたします。

(高山 登委員)

宮城大学でお世話になっている高山です。美術家ですが、宮城教育大学で25年間、東京芸術大学で6年間学生を指導してきました。先日、イタリアで我々の現代美術に関する展覧会がありました。来週はイギリス、スイスの展覧会にも出品予定です。宜しく願いいたします。

(竹内美恵子委員)

竹内美恵子です。一般の主婦です。大変緊張しておりますが、どうぞ宜しくお願いします。

(吉川 由美委員)

吉川由美です。宮城教育大学で高山先生の御指導で卒業いたしました。宮城県美術館創設に関わられた三井滉先生の研究室で学びました。現在、登米祝祭劇場やえずこホールでコミュニティプログラムのディレクションや八戸ポータルミュージアム「はっち」という複合型文化施設でまちの活性化のアートプロジェクトなどを企画しています。また、エンビジという任意団体で南三陸町のアートプロジェクトに関わっております。仙台宮城のデスティネーションキャンペーンなど観光イベントにも参加しています。宜しく願いいたします。

(進行：鹿野田)

ありがとうございました。続いて宮城県教育委員会の職員の紹介に移ります。

(西村次長)

教育次長の西村です。昨年度までは経済商工観光課の次長でしたが、その前は生涯学習課長をしておりました。2年ぶりになります。宜しく願いいたします。

(有川館長)

宮城県美術館館長の有川です。美術館創立の準備室ができた年に採用されました。現在館長として3年目になります。今回はお忙しい中御参加いただきありがとうございます。貴重な御意見を賜りますよう宜しくお願いいたします。

(米倉副館長)

美術館副館長及び管理部長の米倉です。宜しくお願いいたします。

(三上副館長)

美術館副館長の三上です。準備室時代から勤めています。宜しくお願いします。

(和田学芸部長)

美術館学芸部長の和田です。宜しくお願いいたします。

(西塚普及部長)

美術館普及部長の西塚弘です。宜しくお願いいたします。

(川村総括)

美術館管理次長，総括担当の川村です。美術館の事務面を務めます。どうぞ宜しくお願いします。

(三浦課長)

生涯学習課長の三浦です。これまでも行政として俎上にはあがってききましたが，なかなか検討の着手にいたらなかった経緯がございましたが，今回，お力をいただいて着手できることに大変感謝しております。どうぞ宜しくお願いいたします。

(菅原専門監)

生涯学習課社会教育専門監の菅原一矢です。どうぞ宜しくお願いします。

(鹿野田総括)

暫時司会を務めさせていただいております。生涯学習課副参事兼課長補佐（総括担当）の鹿野田です。宜しくお願いします。

(大森班長)

生涯学習課管理調整班長の大森です。宜しくお願いいたします。

(小野寺班長)

生涯学習課社会教育支援班長の小野寺です。今回庶務を担当いたします。どうぞ宜しくお願いいたします。

(上原課長補佐)

同じく社会教育支援班の上原です。宜しくお願いします。

(進行：鹿野田)

以上で職員の紹介を終わります。

4 座長選出

(進行：鹿野田)

それでは，資料1ページの「宮城県美術館リニューアル基本構想策定に係る懇話会開催要綱」を御覧ください。第4により座長と副座長を選出していただきます。座長・副座長につきましては委員の互選により選出いただくこととなりますが，いかがいたしましょうか。

(事務局案があればお願いします。)

(進行：鹿野田)

只今、事務局案とのお声がございましたが、それでよろしいでしょうか。

(異議なし)

(進行：鹿野田)

それでは、事務局案を申し上げます。座長に佐々木委員、副座長に大場委員にお願いしたいと考えておりますが、いかがでしょうか。

(異議なし)

それでは、座長に佐々木委員、副座長に大場委員にお願いいたします。それでは、佐々木座長より御挨拶をお願いします。

5 座長挨拶

(佐々木座長)

改めまして佐々木です。宜しくお願ひいたします。先日のマスコミのニュースで宮城県美術館の「ゴッホのひまわり展」に6万数千人の入場者があったと聞きました。また、歴代9位の入場者数だったということで大変驚きました。たくさんの方が入る美術館だと実感しました。一方、今年の2月～3月にかけて開催された針生一郎展に来た際、会期半ばでカタログが売り切れたことにも驚きました。ひまわり展では被災地としてより多くの方々の心のいやしに寄与する事業として成功し、一方の針生一郎展では、日本の美術関係者の方々が大変興味を持っていた展覧会であったと思います。つまり、展覧会事業ひとつを取り上げましても、硬軟を織り交ぜて大きな成果を挙げられてきた美術館であるということです。

35年ほど前、私が学生だった頃に、カンディンスキーを収集する美術館としてスタートした際、なぜそんなことに税金を使うのかとメディアから叩かれていたような思い出があります。美術をやっている人と一般的な見方とのギャップが大きかった時代だったと思います。カンディンスキーについて、今はしっかりと認知され異を唱える人はいませんし、高い評価を受けているコレクションであると思います。

ストックした美術品と展覧会活動の両面で高い実績をもっている美術館ではありますが、この先、この実績を踏まえた35年、50年を考える良い時期ではないかと思ひます。その時期に関わることができて大変誇りに思ひます。役不足ではありますが、座長として皆さんの意見をまとめて提言まで持っていきたいと思ひますので、2年間宜しくお願ひします。

(進行：鹿野田)

それでは、ここで、西村教育次長は公務により退席させていただきます。

(西村教育次長 退席)

(進行：鹿野田)

以後の進行につきましては、座長をお願いします。

6 会議録署名委員の指名

(佐々木座長)

まず、本日の会議の議事録署名委員2名を指名させていただきます。初回ですので2ページの名簿順に泉武夫委員と大場尚文委員をお願いいたします。

議事に入ります前に、傍聴人の取り扱いについて御説明申し上げます。本会議の傍聴につきましては「審議会等の公開に関する事務取扱要綱」が定められておりますが、本日の傍聴希望者について報告願います。

(事務局：小野寺)

本日、傍聴を希望している方がいらっしゃいますので、会議場への入室を許可してよろしいでしょうか。

(佐々木座長)

わかりました。入室を許可いたします。

(傍聴者6名入室)

(事務局：小野寺)

懇話会の写真撮影は、議事の始まる前のみとなりますので、撮影される方は、この時間をお願いいたします。

(傍聴者による、懇話会の様子撮影)

※小野田泰明委員が到着したので、自己紹介をする。

(小野田委員)

教授会で遅くなりました。東北大学の小野田です。建築畑で主に企画を専門としています。仙台メディアテークや展ボックス、東北大学百周年記念館などをリノベーションを手がけてきました。そういう経験から声がかかったのではないかと思います。大変重い委員会と受け止めて参加させていただきます。宜しく願いいたします。

(佐々木座長)

続けます。「審議会等の会議の公開に関する事務取扱要綱」第8条により、公開した会議の資料及び発言者を明記した会議録については、県政情報センターにおいて3年間県民の方々の

閲覧に供することになっておりますので御了承願います。あまり臆せず闊達な協議をお願いします。

それでは、議事に入ります。

7 議 事

(佐々木座長)

はじめに(1)の報告イですが、懇話会の目的及び懇話会の協議事項についてまとめて説明をお願いします。

(事務局：小野寺)

資料1について説明

(佐々木座長)

この件に関して質問はございませんか。

では、続けてロ 宮城県美術館リニューアル基本構想イメージについて説明をお願いします。

(事務局：小野寺)

資料2を説明

(佐々木座長)

この件に関して、質問はございませんでしょうか。

では、私から質問いたします。「総合美術センター」とありますが、どのように定義づけているのでしょうか。

(有川館長)

美術館建設時の建設基本構想を策定する会議において、美術館の基本的な性格を定めていただきました。そこでは、展示だけではなく、教育普及部の実技活動を伴う取組や、幅広く映像や音楽などの美術に隣接する芸術ジャンルとしての事業展開、図書室を設けて美術資料の展示などができる「総合美術センター」としての提言を受けまして、今日まで総合的な施設として具現してまいりました。

(佐々木座長)

ということは、これまでも進めてきたが、さらに発展させた「総合美術センター」の形として受け止めてよいということですね。

(有川館長)

当初の建設基本構想を引継ぎ、基本方針の中で継続的に進めてきたところです。そういった

幅の広さや美術館は何でも取り組むなど、今後美術館がどういう方向へ行くのかという点については御議論いただきたいところです。

(高山委員)

今の話の中で、親しまれる美術館ということはもちろん賛成ですが、今までの延長線上として捉えるのか、新しい総合美術という考え方を導入していくという可能性もあると考えてよいのか。どうでしょうか。

(小野寺班長)

それはこれからの懇話会の審議次第になっていきます。そういう方向に皆様のお考えがあれば、新しい魅力向上としてさらにプラスすることとして、当然プラスしていくと考えております。

(泉委員)

資料2のⅢの○2つ目の「国内中外」の「中」はいらないと思います。

Ⅱの中には「地域づくり」と「世界とつながる」とあり、Ⅲの方針の中には「県民の文化活動に対する貢献」があり、また、「国際的な視野」について掲げてあるので、大変良いと思います。

(事務局：小野寺)

大変失礼しました。資料作成上のミスですので、「中」は削除願います。

(佐々木座長)

続いて、報告のハ 今後のスケジュールについて説明をお願いします。

(事務局：小野寺)

資料3を使って説明

(佐々木座長)

スケジュールについて何か御意見はございませんか。

では、この予定で進めるということによろしいということになります次に、説明のイ 施設の概要と現状について説明をお願いします。

(美術館：有川館長)

別冊資料4について説明

(佐々木座長)

ありがとうございました。この件に関して、質問はございませんでしょうか。

(特に無し)

(佐々木座長)

まあ通い慣れている美術館ではあっても、改めて御説明をうけると全部一気に吸収できるわけでもありませんので、このデータをしっかり持ち帰って2回目以降の会議で御意見をいただければと思います。

(佐々木座長)

以上で全体の議事を終了いたします。座長をお返しいたします。

(進行：鹿野田)

ありがとうございました。議事お疲れ様でした。それでは、施設見学に入ります。

※和田学芸部長・川村総括の案内で施設見学。5人の委員が参加。

<施設見学ルート>

講堂→創作室→ショップ・レストラン→展示室→収蔵庫→外周（アリスの森）
→県民ギャラリー

(進行：鹿野田)

施設見学お疲れ様でした。続いて連絡に入ります。

(事務局：小野寺)

次回開催について、7月下旬を予定。委員の皆様の御都合を伺い調整させていただきます。

(進行：鹿野田)

その他連絡がございますか。

(進行：鹿野田)

以上をもちまして、第1回宮城県美術館リニューアル基本構想策定に係る懇話会を閉会いたします。